相産定時制だより

令和２年１２月２４日発行
兵庫県立相生産業高等学校
定時制課程
http://www.hyogo-c.ed.jp/~aioi2-ihs/

第7号

11 月・12 月の主な行事

≪地域未来塾≫

11 月 27 日（金）から 12 月 2 日（水）の『学びたいむ』期間中の 4 日間、大学生 2 名に学習支援員としてご協力をいただき、地域未来塾を実施しました。

≪令和 2 年度　後期生徒総会≫

12 月 14 日（月）、後期生徒総会で生徒会選挙を実施しました。立候補した生徒たちは生徒集会室で立会演説を行い、その様子は各教室へライブ中継されました。投票は昨年と同じく相生市選挙管理委員会より投票箱と記載台をお借りして模擬体験を通して行いました。今回、会長、副会長、書記、会計、会計監査の 5 名が信任されました。認証式は 1 月 8 日（金）に実施の予定です。

≪修学旅行結団式・修学旅行≫

12 月 14 日（月）に修学旅行結団式を、15 日（火）から 18 日（金）の 4 日間で修学旅行を実施しました。

修学旅行結団式では、校長先生から校外での活動を通して、新たな一面をみつけてほしいなどのお話をいただきました。また、修学旅行に向けての心構えを確認するとともに、旅行団としての意識を高めることができました。

修学旅行 1 日目は鹿児島に到着後、国指定の名勝である仙厳園と知覧特攻平和会館を見学しました。また、指宿海上ホテルでは砂蒸し風呂を体験しました。2 日目は鹿児島市内で班別自主研修を実施、その後、熊本へ移動して熊本城の復旧の現場を見学しました。3 日目は阿蘇ネイチャーランドでパラグライダー体験と、阿蘇火山博物館を見学し、福岡へ移動して太宰府天満宮を参拝しました。4 日目は福岡市内で班別自主研修を実施し、その後、帰路につきました。

コロナ禍での修学旅行となりましたが、全員が無事に修学旅行を終えることができました。3 泊 4 日の九州縦断の旅の中で生徒たちは様々な経験をし、かけがえのない修学旅行となりました。

〈仙厳園〉

〈知覧特攻平和会館〉

〈熊本城〉

〈パラグライダー体験〉

〈阿蘇火山博物館〉

〈太宰府天満宮〉

≪KYK 溶接技術コンクール≫

12 月 19 日（土）、武庫荘総合高校で開催された KYK 溶接技術コンクールに 3 年生 1 名、2 年生 2 名が参加しました。3 年生の雲丹亀さん、2 年生の久保田さん、小林海翔さんが出場しました。生徒たちは真剣にコンクールに臨み、日頃の実習の成果を十分に発揮して、よい経験を積むことができました。

≪第 16 回ウィンタースクール≫

12 月 16 日（水）から 21 日（月）の 4 日間、第 16 回ウィンタースクールを実施しました。

≪生涯スポーツ（1 日目）≫

16 日（水）に生涯スポーツとしてバレーボール大会を実施しました。1 年生は 3 チーム、2 年生、4 年生は 2 チームにわかれ、トーナメント戦を行いました。結果は、優勝が 4 年生 A チーム、準優勝が 4 年生 B チーム、3 位が 1 年生 B チームとなりました。ボールを落とさないようみんなで助け合いながら、一生懸命取り組むことの大切さを再認識しました。

≪新聞読み方講座（2 日目）≫

17 日（木）に朝日新聞大阪本社の江原健大氏を講師としてお招きし、『新聞読み方講座』を実施しました。生徒たちは新聞の製作過程や新聞を読む際のポイントを学びました。また、学年を交えたグループワークでは注目した新聞記事の内容を紹介し合い、新聞を読んで自分の意見をもち、発言することの大切さを学びました。

≪サイバー犯罪被害防止教室（3 日目）≫

18 日（金）に兵庫県警察本部の谷口哲也氏を講師としてお招きし、『サイバー犯罪被害防止教室』を実施しました。生徒たちはスマートフォンがウイルスに感染する原因や対処法、SNS を利用する際の注意点などを学びました。「知っていれば防げる」がキーワードの講演を、生徒たちは真剣に受講し、ネットを利用する際の知識・技能を学びました。

≪和太鼓鑑賞会（4 日目）≫

21 日（月）に「想咲（そうさく）太鼓打ち」溝端健太氏をお招きし、和太鼓鑑賞会を実施しました。和太鼓の力強い演奏を披露していただいたほか、各学年の代表生徒たちによる和太鼓の演奏を体験させていただきました。生徒たちは和太鼓の魅力に触れ、充実した時間を過ごしました。

また、今回の鑑賞会には千尋町の方々にも参加いただきました。

『新聞閲覧 16』（11 月 30 日（月）実施）感想紹介

神戸新聞　2020 年 11 月 20 日　『感染者にリボンで共感』

1 年

このような活動をして差別をなくすことを目的とした団体をつくったり、市や県に広めていくのはいいことだと思いました。こういう活動が、国や世界全体にも広がってほしいと思いました。

以前に、コロナに感染したことでいじめの被害にあうという子どもたちのニュースを見たことがあります。同じ人間なのにどうして差別するのかわかりません。なので、そういう人たちを減らそうと活動している人たちがいることはすごいことだと思いました。

コロナに感染した人や、濃厚接触者になった人たちを差別するのではなく、回復後にはしっかりと笑顔で「ただいま・おかえり」を言えたらいいと思いました。自分の友達が感染者・濃厚接触者になっても、あいさつをしたり、優しく接することが大切だなと思いました。

コロナに感染した人は辛い思いをしたのに、回復した後は社会から批判されることがあると知って、とてもひどいと思いました。このようなことにならないようにするための「シトラスリボンプロジェクト」は、コロナに感染した人にとても良い取り組みだなと思いました。

2 年

感染症は意識していてもかかりますし、それをおさえることはできません。だから、コロナ差別をなくそうという運動はとても大事なことだと思いました。しっかり気をつけていてもコロナにかかり、人にひどいことを言われたらほとんどの人はぼろぼろになると思います。だからこそ、明日は我が身と思って差別せず、差別されずという意識をいろんな人がもつことができたらいいなと思いました。

コロナウイルスに感染してから回復したあとも差別を受けていたということを知り、とても大変だなと思いました。家に戻っても買い物に行ったり、子どもと外で遊んだりすることができないので、とてもつらいことだなと思いました。

3 年

最近になって再びコロナウイルスの感染が拡大し、感染者がすごく増えています。身近な人や友達や家族が感染することもありえます。もしそうなった場合は、その人が安心して戻ってこられるようにその人を避けたりせず「おかえり」と言ってあげたいです。

今の状況では、どんなに予防を心がけても感染してしまうことはあると思います。感染した人は悪くないと思います。感染した人たちのためにも、こういった取り組みや活動はとても良いと思いました。

4 年

最近はコロナウイルスの感染者がまた増えてきて、兵庫県でも新規感染者が 100 人を超える日があり、怖いなと改めて思います。PCR 検査を拒否した人が、その後も日常生活を送る中で感染を広めているのではというニュースを見たことがあります。検査を拒否した理由として、差別されたりいじめにあったりするからというものがありました。どれだけ対策をしようと、感染するものは仕方ないし、感染する可能性は誰にでもあると思います。

こうした活動はもっと広まってほしいと思います。万全の対策をしても、コロナに感染してしまうのは仕方ないことです。ですが、感染者を責めたり、攻撃したり、そうした雰囲気をつくるのはいけないことです。

１月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					元旦	
3	4	5	6	7	8	9
					始業式 生徒会認証式 個人面談	
10	11	12	13	14	15	16
	成人の日	特別時間割 個人面談	特別時間割 消費者教育 出前講座 個人面談	特別時間割 新聞閲覧 17 個人面談	情報技術検定	
17	18	19	20	21	22	23
	C.C	PTA 役員会	禁スマ 新聞閲覧 18	第２回オープン ハイスクール 特別講師 （旋盤）③	C.C	
24	25	26	27	28	29	30
	新聞閲覧 19 C.C	課題研究 発表会	卒業考査①	卒業考査② C.C	卒業考査③	
31						

２月の主な行事予定

２日（火）新聞閲覧 20
４日（木）キャンパスカウンセリング
　　学びたいむ（～10 日（水））
８日（月）キャンパスカウンセリング
11 日（木）建国記念の日
12 日（金）生徒休業日
15 日（月）生徒休業日
16 日（火）学年末考査（～22 日（月））
23 日（火）天皇誕生日
24 日（水）卒業式予行
25 日（木）卒業式
26 日（金）テスト返し

３学期特別時間割

		１年		２年	３年	４年
１／12（火）	０限					
	１限	国	英	世史	数Ａ	課題研究
	２限	化	日	国総	情技	
	３限	個	別	面	談	
	４限					
１／13（水）	０限					
	１限	キ文	美	数Ⅰ	実習	消費者教育 出前講座
	２限	美	数	科学		現文
	３限	個	別	面	談	
	４限					
１／14（木）	０限					
	１限	工技		保健	英表	選択Ｂ
	２限			英Ⅰ	設計	現社
	３限	個	別	面	談	
	４限					